

令和7年度 委員会活動計画

広報委員会

2025.02.12

1. 既存事業の継続、会員の年齢別構成に合わせた事業展開 ——
 - ・職業Gに特化したリーフレット作成 A4三つ折り 動画と「紙」で情報を提供
(リビングサポート班、植木班、除草班、手芸班、刃物研ぎ)
2. 会員増強と就業形態、募集形態の見直し ——
 - ・65歳～75歳に絞った会員募集実施
(広報ひの有料広告でのキャッチコピーを再考展開)
 - ・地域別人口構成を把握し、会員募集チラシ新聞折り込み実施
3. HPのシステム変更に伴いそよかぜHP版掲出、印刷版のコンテンツ検討
【HP版】従来の「紙形式」ありきではなく、インターネットの速報性を最大の特徴とすること。新しいニュースが最上位に積み上げられる。時間軸が最新の事柄が、その時点でのトップ記事になっていく。
時系列中心のニュース型原稿(速報)と解説や主張中心のコラム型原稿。
【印刷版】HPは各委員会のブログ形式のニュース中心になるので、印刷版は、HP掲載を追いかける形になる。
広報委独自の企画記事、センター全体の動き、事務局からの発信を加えて毎月のそよかぜ印刷版となる。
4. 対外広報活動の内容を総合的に検討する
 - ・高幡不動駅構内の電飾ボード 原稿改稿する(2022年8月掲出開始)
 - ・まちづくり市民フェアの出展 広報委員会のパネル掲載、資料配布⇒イベント、物品販売(手芸班、女性委)を中心に、広報委による入会案内を実施
 - ・日野市産業まつりへの出展 日野市最大の市民へのイベントなので継続出展する
リサイクル事務所による物品販売を中心に、広報委は市民へのPR、入会説明を担当
 - ・全地域班一斉清掃、多摩川・浅川クリーン作戦を市民へのPR機会と考え、SCのボランティア活動をイメージつける。各地域班 のぼり旗持参、ビブスの着用
 - ・「デジタル・サイネージ」の活用 市役所本庁西側エレベーター横の設置してあるサイネージにセンターの会員募集を常時掲出する 費用は無料、原稿手配のみ
 - ・市広報紙「広報ひの」紙面でのPR展開 市広聴広報課と取材連動し、「広報ひの」に表紙を含む数ページの記事紹介を企画する。

5. 新企画の実施

- ・いきいきカルチャー教室 全講座 LINE up
2025年10月からの新講座紹介
(HPが会員以外の市民に閲覧可能になる機会を捉え、市民にPRする)
- ・LINEで配信(動画付)「いちおし就業紹介」
就業に応募が少ない職種等に、仕事の動画を加え応募増加を狙う
- ・エンターテイメントのページを導入検討
会員一般投稿、シルバーサロン、みんなのコーナーなど
文芸、俳句、短歌、川柳、詩、小説、随想、私の趣味、街グルメ、お気に入りの場所
写真、絵画
- ・50周年に向けての記念企画の事前リサーチと検討
7年度の活動計画では、詳細を明らかにしないが、ロングリストを作成、複数年に
わたり検討する
- ・シルバースペシャルウィーク(総務委員会とコラボレーション)
10月3週目の「シルバーの日」をGO TO SILVERキャンペーン
80歳以上の会員(300人在籍)に対して年1回の催し
生活・保健センター 3階 集会室を使用して、80歳からの就業、有償ボラン
ティアの考え方、フレイル防止策(健康課に依頼)などを実施
熱中症予防のため、お茶を1本進呈する